

【NEWS RELEASE】

2021年8月10日

各位

株式会社三井住友銀行
 三井住友ファイナンス&リース株式会社
 SMBCベンチャーキャピタル株式会社

オリヅルセラピューティクス株式会社への出資に関して

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下「三井住友銀行」）、三井住友ファイナンス&リース株式会社（取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）、SMBCベンチャーキャピタル株式会社（取締役社長：落合 昭、以下「SMBCVC」）は、SMFLとSMBCVCがiPS細胞由来の再生医療製品の研究開発型企業として設立されたオリヅルセラピューティクス株式会社（取締役社長：野中 健史、以下「OZTx」）に出資することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

2015年の合意以降、京都大学iPS細胞研究所（所長：山中 伸弥、以下「CiRA」）と武田薬品工業株式会社（社長 CEO：クリストフ・ウェーバー、以下「武田薬品工業」）の共同研究プログラム「T-CiRA」が行われてきました。この度、T-CiRAプログラムにおける2つの研究成果の有効性が検証されたことに基づき、OZTxが設立されることになり、SMBCVCは京都大学イノベーションキャピタル株式会社と武田薬品工業と共にシード出資をいたしました。加えて、今般、SMFLとSMBCVCは、シリーズA出資を決定いたしました。今後、OZTxはiPS細胞由来の再生医療等製品の開発事業とiPS細胞技術の利活用事業を行う予定です。

三井住友銀行は、2008年に、京都大学がiPS細胞に係る研究成果の社会還元・社会貢献のために設立された事業準備会社及び知的財産権管理・活用会社への資金支援の他、グループとして新型コロナウイルス感染症をはじめとする新種ウイルスの医学研究への支援としてCiRAに寄付を行うなど、iPS細胞技術による再生医療や社会課題解決の実現を後押しすべく、支援してまいりました。

引き続き、OZTxのiPS細胞技術の実用化に向けた事業活動を支援すると共に、iPS細胞技術による難治性疾患の治療法など社会課題の解決に資する先進的な技術を支援してまいります。

【ご参考】オリヅルセラピューティクス株式会社 概要

設立	2021年4月
拠点	本社：京都府京都市、事業所：神奈川県藤沢市
代表取締役	野中 健史
主な株主	京都大学イノベーションキャピタル株式会社、武田薬品工業株式会社 SMBCベンチャーキャピタル株式会社
主要事業内容	iPS細胞由来の再生医療開発品の研究開発及びその臨床応用 iPS細胞技術の利活用事業の研究開発

以 上